



収用補償の日中比較—生活再建補償を中心に

楊, 雅舒

(Degree)

博士 (法学)

(Date of Degree)

2018-09-12

(Date of Publication)

2022-09-12

(Resource Type)

doctoral thesis

(Report Number)

甲第7264号

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/D1007264>

※ 当コンテンツは神戸大学の学術成果です。無断複製・不正使用等を禁じます。著作権法で認められている範囲内で、適切にご利用ください。



博士学位論文

収用補償の日中比較—生活再建補償を中心に

神戸大学大学院法学研究科

専攻：理論法学専攻

指導教授：角松生史

学籍番号：117J013J

氏名：楊雅舒

提出年月日：2018年7月10日

論文要旨

中国では、急速な経済発展による土地需要の急速な拡大に伴い、各地で土地収用問題が多発している。土地収用の範囲、規模、速度が拡大化、加速化すると共に、土地をめぐる諸問題が頻発しており、少なくない事例において、争議や紛争などの大きな社会問題となっている。現在の中国の土地収用制度には、収用手順の不十分さ、収用補償金額の低さ、救済手段の欠如などの問題点がある。

日本国憲法第29条第3項は、「私有財産は、正当な補償の下に、これを公共のために用ひることができる。」と規定している。従来の通説は、同条項は財産権の侵害に対する補償を定めたものである、と解してきたが、ダム建設など大規模な公共事業が行われる場合、当該地域社会は大きく変貌し、地域住民の生活基盤も大きな影響を受けることになる。そのような場合、被収用者の財産的損失に対して補償するだけでは、被収用者やその他の関係人の従前の生活が保障されたことにはならないことから、公共事業の施行に伴って生活基盤を失う者が従前の生活を維持し回復するために必要な費用や便益の供与という「生活権補償」に関する議論がなされた。

本論文は、日中両国の収用補償について、財産権補償と生活再建措置の関係という観点から比較を試みるものであり、中国における収用補償制度の問題点を整理した上で、日本法からどのような示唆が得られるかについて検討する。

本論文は十章から構成され、それぞれの内容は次の通りである。

第一章は、本研究の目的と本論文の構成について述べる。

第二章は、中国における用地取得と土地制度の現状をまとめる。中国では、憲法第10条で土地所有制の二元構造(国家所有と集団所有)、また土地管理法第2条で社会主義公有制を規定している。本章は、国有土地所有権に対する「全人民」という言葉の不自然さと、集団所有地所有権をめぐる実際的な混乱状態を指摘する。このような現状は、収用補償の混乱に繋がっている。

第三章は、中国の現在の土地政策の特徴の根源を探究するため、建国から現在に至るまでの土地収用補償制度の沿革を検討する。同章第(二)節は、法制度の変化を時系列で分析し、第(三)節はその特徴を考察する。

第四章は、中国の現行法における農地の収用と補償に関する法規定を検討する。

第五章は、射洪県柳樹電航工程を例として、農地収用補償の実務を分析し、法規定との相違点を指摘する。

第六章は、中国集団土地収用制度に関する所見を検討し、補償範囲と基準の問題に加えて、被収用者の範囲、集団の意思決定、集団と個人間の補償の配分等について問題があることを指摘する。土地補償費と安置補助費の配分については、裁判例の検討を通じて、救済手段の不足を指摘する。また、補償範囲と基準に関連して、「失地農民」問題に示されている補償の不十分さを指摘する。第七章は、都市建築物の収用と補償を考察する。2011年に公布

された「国有土地上建築物収用・補償条例」をベースとして、中国国有土地上建築物の収用と補償の現状を検討する。

第八章は、謝洪鎮金華沐水小鎮を例として、都市建築物収用補償の実務を分析し、法規定との相違点を指摘する。

第九章は、日本における収用補償について検討する。憲法 29 条 3 項が求める「正当な補償」の下で、生活権補償を含む財産的損失以外の損失補償の可否についての学説・裁判例を分析する。現行法上、生活権補償を独立の項目とすることについては、基本的に否定されているが、実際の補償規定の中には生活権補償的要素が含まれることを分析する。

以上の検討を受けて、第十章は、日中の収用補償を比較し、中国法への示唆を明らかにする。日本法との対比を通して、中国の現行補償制度の基準と範囲に関して提言を行う。また、前述した日本の生活権補償に関する分析を踏まえて、中国「安置」補償改革に向けた提言を行う。第十一章は本稿の考察のまとめである。